

1. 手術室の稼働効率を高めるために必要な事項はどれか。
- (1) 二足制
 - (2) マンパワーの確保
 - (3) 予定手術時間の遵守
 - (4) 患者入れ替え時間の短縮
 - (5) 全ての手術室の同時使用
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

2. 麻酔余剰ガスについて誤っているのはどれか。
- a 亜酸化窒素はオゾン層を破壊する。
 - b 亜酸化窒素は温室効果ガスである。
 - c セボフルランはオゾン層を破壊しない。
 - d 亜酸化窒素の大気中の寿命は150年程度である。
 - e 余剰ガスは大気中に未分解のまま放出されることが多い。

解答：c

3. 周術期の感染症対策として正しいのはどれか。
- (1) ドレーンは閉鎖式を用いる。
 - (2) 手術中の低体温を予防する。
 - (3) 周術期を通して高血糖を避ける。
 - (4) 手術野の除毛は手術前日に行う。
 - (5) 予防的抗菌薬は執刀後に投与開始する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：a

4. 手術当日に発熱が観察された。その原因として検索しなければならないのはどれか。
- (1) 脱水
 - (2) 尿路感染
 - (3) 呼吸器感染
 - (4) 手術前日の不眠
 - (5) 手術当日の気温の上昇
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：a

5. 術後の回復能力を強化させるために行われるのはどれか。
- (1) 十分な疼痛管理
 - (2) 早期離床の促進
 - (3) 早期の経口摂取開始
 - (4) 長時間作用性の麻酔薬の選択
 - (5) 不安軽減のための十分な前投薬
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：a

6. 針刺し事故等の職業感染症の対策について正しいのはどれか。
- (1) スタンダードプリコーションを行う。
 - (2) 患者の汗に接触すると感染する可能性がある。
 - (3) 針刺し事故発生時には、すぐに十分消毒する。
 - (4) 針などの鋭利物は使用後、耐貫通性容器に入れる。
 - (5) 入職時にHBV ワクチンを受けておくことが望ましい。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：c

7. 抗うつ薬の副作用として誤っているのはどれか。
- a 頻脈
 - b QT 延長
 - c 血圧上昇
 - d 頭蓋内圧亢進
 - e 起立性低血圧

解答：d

8. 妊娠末期の妊婦について正しいのはどれか。
- (1) 凝固機能が低下する。
 - (2) 生理的貧血が起こる。
 - (3) 胃内容排泄時間が延長する。
 - (4) 仰臥位で血圧が低下しやすい。
 - (5) 酸素解離曲線が左方移動する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

9. 小児の術前評価として正しいのはどれか。
- (1) 服用中の抗痙攣薬は術前に休薬する。
 - (2) 生ワクチン接種後の手術は3日間あける。
 - (3) 術前2時間前まで糖水経口摂取可能である。
 - (4) 術前2週間以内に喘息発作があれば予定手術を延期する。
 - (5) 3週間以内に流行性耳下腺炎に接触した場合は予定手術を延期する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

10. 中心静脈路確保に関して正しいのはどれか。
- (1) 内頸静脈穿刺で気胸は起きない。
 - (2) 合併症の1つに、肺塞栓症がある。
 - (3) 大腿静脈から確保することができる。
 - (4) 日本麻酔科学会は超音波ガイド下穿刺を推奨している。
 - (5) セルジンガー法は、解剖学的な目印を利用した穿刺法である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

11. パニック値はどれか。
- (1) CK 150 IU/L
 - (2) 動脈血 pH 7.7
 - (3) ALT 3000 IU/L
 - (4) カルシウム 15 mg/dL
 - (5) アミラーゼ 100 IU/L
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

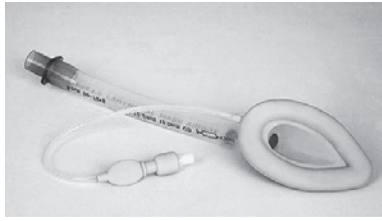
CK：クレアチニンキナーゼ

ALT：アラニンアミノトランスフェラーゼ

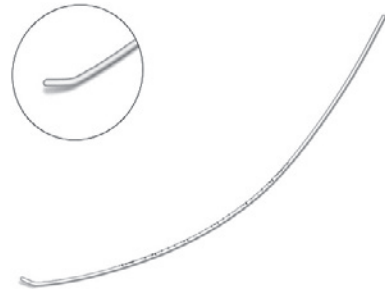
解答：d

12. マスク換気困難の時に用いるのはどれか。

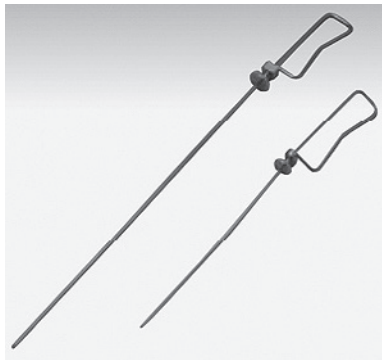
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)



(1)



(2)



(3)



(4)



(5)

解答：b

13. 正しいのはどれか。

- (1) 喫煙者は術前 2～8 週間以上の禁煙が望ましい。
 - (2) 上気道炎罹患後 6 日間で気管支の過敏性は消失する。
 - (3) 1 秒量 > 1 L の症例では術後肺合併症のリスクがある。
 - (4) COPD の重症度評価には NYHA の重症度分類を用いる。
 - (5) 急性上気道炎の患者では、喉頭痙攣の発生率が上昇する。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

COPD：慢性閉塞性肺疾患

NYHA：ニューヨーク心臓協会

解答：b

14. 腎臓について正しいのはどれか。

- (1) エリスロポイエチンを分泌する。
 - (2) 腎血流は心拍出量の 50% を占める。
 - (3) 血中尿素窒素は糸球体ろ過率を反映しない。
 - (4) 乏尿とは、0.5 mL/kg 以下の時間尿の状態をいう。
 - (5) 成人の場合、一日当たり約 180 L の原尿が生成される。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：c

15. 肝臓に関して正しいのはどれか。

- (1) 肝硬変患者では肺内シャントが減少する。
 - (2) アルブミンは肝臓以外の臓器でも生成される。
 - (3) 重篤な肝機能障害の患者では創傷治癒が遅くなる。
 - (4) 慢性肝機能障害の原因として最も多いのは肝硬変である。
 - (5) インドシアニン負荷試験の正常値は 15 分値 10% 以上である。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：d

16. 麻酔に使用する薬物について正しいのはどれか。
- (1) TIVA にチオペンタールを持続投与する。
 - (2) 鎮痛薬としてプロポフォールを使用する。
 - (3) 鎮静薬としてレミフェンタニルを使用する。
 - (4) 気管挿管を行う場合は筋弛緩薬を使用する。
 - (5) 小児の緩徐導入にセボフルランを使用する。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

TIVA：全静脈麻酔

解答：e

17. 脊髄くも膜下麻酔の合併症として、最も可能性が低いのはどれか。
- a 悪心
 - b 頭痛
 - c 血圧低下
 - d 悪性高熱症
 - e アナフィラキシーショック

解答：d

18. 局所麻酔薬中毒の症状でないのはどれか。
- a 水疱
 - b 興奮
 - c 多弁
 - d けいれん
 - e 舌のしびれ

解答：a

19. 亜酸化窒素について正しいのはどれか。
- (1) 鎮痛作用はない。
 - (2) 二次ガス効果がある。
 - (3) MAC は 105% である。
 - (4) 麻酔後の悪心嘔吐を起こし易い。
 - (5) 投与中止直後は空気を吸入させる。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

MAC：最小肺胞濃度

解答：d

20. 亜酸化窒素の使用を避けるべき術式・病態はどれか。

- (1) 気胸
- (2) イレウス
- (3) 鼓室形成術
- (4) 側彎症手術
- (5) 鼓膜チュービング

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：a

21. 術前検査で貧血のない患者で，乳酸リンゲル液のみで対応可能な出血量は，循環血液量の何%までか。

- a 10%
- b 20%
- c 30%
- d 40%
- e 50%

解答：b

22. 分離肺換気を要する手術はどれか。

- (1) 食道癌手術
- (2) 脳腫瘍手術
- (3) 舌腫瘍手術
- (4) 大腸腫瘍手術
- (5) 胸部下行大動脈置換術

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：b

23. 次の中で最も中枢温に近いのはどれか。

- a 口腔温
- b 食道温
- c 直腸温
- d 膀胱温
- e 腋窩温

解答：b

24. 中枢温低下をきたすのはどれか。

- (1) 開腹術
- (2) ケタミン
- (3) アミノ酸製剤
- (4) セボフルラン
- (5) 脊髄くも膜下麻酔

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：c

25. 末梢神経障害の危険因子について正しいのはどれか。

- (1) 高血圧
- (2) 糖尿病
- (3) 碎石位
- (4) 長時間の駆血
- (5) 高二酸化炭素血症

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

26. パルスオキシメトリについて正しいのはどれか。

- (1) 電気メスによる干渉を受けない。
- (2) メチレンブルー投与で低値を示す。
- (3) ヘモグロビンの吸光度を用いて測定する。
- (4) メトヘモグロビン血症は酸素飽和度に影響しない。
- (5) 酸素飽和度とは脱酸素化ヘモグロビンに対する酸素化ヘモグロビンの割合である。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：c

27. 全身麻酔中の適切な BIS 値は下記のうちのどれか。

- a 0
- b 25
- c 50
- d 75
- e 100

BIS : Bispectral Index

解答：c

28. 上気道閉塞が起きたときの対処法はどれか。

- (1) 下顎挙上
- (2) 気管挿管
- (3) 頭部前屈
- (4) バイトブロックの挿入
- (5) 経口エアウェイの挿入

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

29. 硬膜外穿刺が禁忌となるのはどれか。

- (1) 小児
- (2) 骨粗しょう症
- (3) 頭蓋内圧の亢進
- (4) ワルファリンの内服
- (5) 患者の協力が得られない

a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

30. 末梢神経ブロックについて誤っているのはどれか。

- a 局所麻酔薬中毒は起きない。
- b 合併症として神経損傷がある。
- c 神経刺激装置を用いることが推奨される。
- d 穿刺部位に皮膚感染があるときは禁忌である。
- e 超音波診断装置（エコー）を用いることが推奨される。

解答：a

31. 術中の経食道心エコー検査に関して正しいのはどれか。

- (1) 嘔声の原因にはならない。
- (2) 左室拡張能の評価ができる。
- (3) 左室駆出率の測定ができる。
- (4) 心臓手術以外では有用性は低い。
- (5) 食道静脈瘤のある患者でも安全に使用できる。

a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：c

32. 誤っているのはどれか。
- a 脳血流量は自動調節される。
 - b 過換気は脳血流量を増加させる。
 - c 吸入麻酔薬は脳血流量を増加させる。
 - d 頭蓋内圧が 25 mmHg の場合は治療が必要である。
 - e 脳灌流圧は「平均動脈圧－頭蓋内圧」で表される。

解答：b

33. 非観血的血圧測定に関して誤っているのはどれか。
- a 透析患者ではシャント造設側での測定は禁忌である。
 - b 幅が狭いカフの使用は、血圧が実際よりも高く測定される。
 - c カフを巻く位置が心臓より高い場合、血圧は高く測定される。
 - d 麻酔中の患者では少なくとも 5 分おきに測定する必要がある。
 - e 過度に頻回の測定を行うと末梢神経障害を起こすことがある。

解答：c

34. 中心静脈カテーテル留置に関して誤っているのはどれか。
- a 手術時は内頸静脈アプローチが選択される。
 - b 鎖骨下静脈アプローチでは気胸に留意する。
 - c 上大静脈症候群では大腿静脈アプローチが望ましい。
 - d 穿刺時に超音波診断装置（エコー）を用いることが望ましい。
 - e 長期留置が予想される場合、大腿静脈アプローチが望ましい。

解答：e

35. 次のうち閉塞性呼吸障害はどれか。
- (1) % 肺活量 95%, 1 秒率 55%
 - (2) % 肺活量 85%, 1 秒率 65%
 - (3) % 肺活量 75%, 1 秒率 75%
 - (4) % 肺活量 65%, 1 秒率 85%
 - (5) % 肺活量 55%, 1 秒率 95%
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
 - d (3), (4) e (4), (5)

解答：a

36. 腹腔鏡手術で気腹中に P_{ETCO_2} が上昇したとき、正しい対処方法はどれか。

- (1) PEEP を上げる。
- (2) 呼吸回数を増やす。
- (3) 1 回換気量を増やす。
- (4) 吸気時間を長くする。
- (5) 吸入酸素濃度を上げる。

- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
- d (3), (4) e (4), (5)

PEEP : 呼気終末陽圧

解答 : c

37. 静脈麻酔薬について正しいのはどれか。

- (1) プロポフォールは鎮痛作用がある。
- (2) プロポフォールには血管痛がある。
- (3) 静脈麻酔薬だけで全身麻酔が可能である。
- (4) 成人の全身麻酔の導入は主に静脈麻酔薬を用いる。
- (5) BIS 値により静脈麻酔薬の血中濃度がモニターできる。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

BIS : Bispectral Index

解答 : d

38. 麻酔中の循環管理について正しいのはどれか。

- (1) 心不全患者では過剰な輸液を避ける。
- (2) 高齢者では循環動態の変動が小さい。
- (3) 冠動脈疾患のある患者では徐脈を避ける。
- (4) 高血圧の患者では、血圧の変動が大きい。
- (5) 脳梗塞の既往のある患者では低血圧を避ける。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
- d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答 : c

39. 麻酔中の吸入酸素濃度及び新鮮ガス流量について正しいのはどれか。
- (1) 高濃度酸素の吸入は無気肺を生じる。
 - (2) 全身麻酔の導入前に十分な酸素化を行う。
 - (3) 高流量の新鮮ガスは麻酔からの覚醒を速やかにする。
 - (4) 分時換気量が一定の場合、死腔が増えると肺胞換気量も増える。
 - (5) 吸入麻酔薬濃度が一定であれば、消費量はガス流量に影響されない。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：a

40. 麻酔中の輸液管理について正しいのはどれか。
- (1) 周術期の輸液は細胞内液の補充を目的とする。
 - (2) 細胞外液の補充には5%ブドウ糖液が有効である。
 - (3) 大量に生理食塩液を投与するとアシドーシスになる。
 - (4) 平常時の不感蒸泄による水分の喪失は、1~2 mL/kg/時である。
 - (5) 出血を晶質液（乳酸リンゲル液など）で補う場合は、出血量の3~4倍投与する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

41. 輸血療法について正しいのはどれか。
- (1) 術中の血液製剤は加温して投与する。
 - (2) 自己血輸血は安全な輸血療法の1つである。
 - (3) 術中のヘモグロビン（Hb）値は10 g/dL以上に維持する。
 - (4) 循環血液量の10%の出血に対し、赤血球濃厚液の投与を考慮する。
 - (5) 術中の血小板数が5万/ μ L以下の場合、血小板輸血を考慮する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

42. 正しいのはどれか。
- (1) 周術期肺血栓塞栓症は高齢者に多い。
 - (2) 周術期の抗凝固療法の合併症として出血がある。
 - (3) 早期離床は周術期肺血栓塞栓症の危険因子である。
 - (4) 悪性腫瘍は深部静脈血栓症のリスク因子にならない。
 - (5) 周術期肺血栓塞栓症の大部分は深部静脈血栓に由来する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

43. 外傷死（大量出血時）の三徴として挙げられる項目はどれか。
- (1) 低体温
 - (2) 凝固障害
 - (3) 血小板増加
 - (4) 末梢血管の拡張
 - (5) 代謝性アシドーシス
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

44. 内分泌疾患の手術時に、副腎皮質ステロイド製剤の投与が推奨されるのはどれか。
- (1) 甲状腺機能亢進症に対する甲状腺切除術
 - (2) 褐色細胞腫に対する副腎髓質腫瘍摘出術
 - (3) クッシング症候群に対する副腎皮質腫瘍摘出術
 - (4) 末端肥大症（巨人症）に対する下垂体腫瘍摘出術
 - (5) 副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺腫瘍摘出術
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：d

45. 人工呼吸管理中に頭蓋内圧を上げる薬剤はどれか。
- a ケタミン
 - b ミダゾラム
 - c フェンタニル
 - d プロポフォール
 - e レミフェンタニル

解答：a

46. 気腹による腹腔鏡手術時に生じる変化はどれか。
- (1) 尿量増加
 - (2) 気道内圧低下
 - (3) 心拍出量低下
 - (4) 下肢血液貯留
 - (5) 高二酸化炭素血症
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

47. 分離肺換気中に低酸素血症が生じたときの対応として正しいのはどれか。

- (1) 麻酔深度を下げる。
 - (2) 換気回数を増やす。
 - (3) 吸入酸素濃度を上げる。
 - (4) 一時的に両肺換気に戻す。
 - (5) 一回換気量を 20 mL/kg に増加させる。
- a (1), (2) b (1), (5) c (2), (3)
d (3), (4) e (4), (5)

解答：d

48. 腹臥位の脊椎手術で誤っているのはどれか。

- a 眼球圧迫を避ける。
- b 下大静脈の圧迫により出血量が減少する。
- c 静脈還流の低下により心拍出量が低下する。
- d 換気血流比の改善により酸素化が改善する。
- e 体位変換時には、気管チューブと麻酔回路の接続を外す。

解答：b

49. 小児の麻酔に関して正しいのはどれか。

- (1) 上気道では声帯部が最も狭い。
 - (2) 成人と比べて低酸素血症になりにくい。
 - (3) 吸入麻酔薬の MAC が成人に比べ高い。
 - (4) 吸入麻酔薬による緩徐導入が一般的である。
 - (5) 麻酔導入を円滑に行うために前投薬は有用である。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

MAC：最小肺胞濃度

解答：e

50. 全身麻酔から覚醒後の気道合併症について正しいのはどれか。

- (1) SpO₂ が維持されていれば、治療は不要である。
 - (2) 喉頭痙攣は、声門部の筋の攣縮によって生じる。
 - (3) 成人に比較して、小児は喉頭痙攣を起こしやすい。
 - (4) 筋弛緩薬が残存している場合は、上気道閉塞が起こりやすい。
 - (5) 喉頭痙攣による SpO₂ 低下に対しては、経鼻エアウェイを用いる。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

51. 75歳女性。大腿骨頸部骨折に対して人工骨頭置換術を施行した。術後離床時に、突然の胸部不快感を訴え、チアノーゼを呈したため SpO₂ をモニタしたところ、88%であった。直ちにリザーバマスクを用いて酸素を投与し自覚症状の改善を得たが、SpO₂ は93%であった。最も疑われるのは、どれか。
- a 喘息
 - b 無気肺
 - c 気道浮腫
 - d 細菌性肺炎
 - e 肺血栓塞栓症

解答：e

52. 心房細動について正しいのはどれか。
- (1) 心電図の RR 間隔は一定である。
 - (2) 心電図では規則的な P 波を認める。
 - (3) 除細動は心電図の QRS と同期させる。
 - (4) ジギタリス製剤は心拍数の調節に用いられる。
 - (5) 周術期には抗凝固療薬の休薬期間に留意する。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

53. 術後の譫妄について正しいのはどれか。
- (1) 多くは一過性である。
 - (2) 周術期合併症を増加させる。
 - (3) 外傷患者での発症は少ない。
 - (4) 術後3週間以降に発症することが多い。
 - (5) 若年者より高齢者の方が発症しやすい。
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

54. 急性腎障害の特徴として適切なのはどれか。
- (1) 浮腫
 - (2) 乏尿
 - (3) 心筋虚血
 - (4) 低カリウム血症
 - (5) 代謝性アシドーシス
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

55. 上気道狭窄の症状はどれか。

- (1) 嘔吐
- (2) あくび
- (3) いびき
- (4) 奇異性呼吸運動
- (5) 胸骨切痕部の凹み

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：e

56. ラテックスアレルギーのハイリスク群にはいるのはどれか。

- (1) 高齢者
- (2) 看護師
- (3) 二分脊椎
- (4) キウイアレルギー
- (5) 抗菌薬アレルギー

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：d

57. 術後、フェイスマスク 5L/分で酸素投与し患者を病棟へ搬送する。搬送用酸素ボンベ（フル充填で 500 L）の圧力計は 60 気圧を示していた。このボンベでの搬送可能時間は次のうちどれか。

- a 20 分
- b 40 分
- c 60 分
- d 80 分
- e 100 分

解答：b

58. 開腹術について、正しいのはどれか。

- (1) 不感蒸泄が多い。
- (2) 低体温になりやすい。
- (3) 迷走神経反射では頻脈をきたす。
- (4) 硬膜外麻酔では腹壁の筋弛緩は得られない。
- (5) オピオイドの持続投与は術後鎮痛に有効である。

- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

59. 開心術中の次のモニターと評価項目との組み合わせで正しいのはどれか。

- (1) 心電図……………心筋虚血
 - (2) 経食道心エコー「検査」……心機能評価
 - (3) パルスオキシメータ……………酸素消費量
 - (4) 肺動脈カテーテル……………動脈血酸素飽和度
 - (5) 近赤外線モニター……………脳酸素需給バランス
- a (1), (2), (3) b (1), (2), (5) c (1), (4), (5)
d (2), (3), (4) e (3), (4), (5)

解答：b

60. 患者搬送時に使用するのどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ③と④



①



②



③



④

解答：c